

東洋史概説Ⅱ

科目ナンバリング HAA-102
必修 2単位

柿沼 陽平

1. 授業の概要(ねらい)

本概説では、おもに中国史を軸とする東アジア史全般について、最新の学界動向をふまえて検討する。そのさいに、ヴィジュアルな授業を心がけ、各時代・各地域の遺跡や遺物の写真を数多く紹介するつもりである。また経済学・文化人類学・社会学の成果をも随時援用する。これらを通じて学生の皆さんには、中国通史を学習するのみならず、ものごとを多角的に考察する目も養ってもらいたい。

なお前期の「東洋史概説Ⅰ」では夏代から前漢代までを、後期の「東洋史概説Ⅱ」では後漢代から現代までを扱う。

2. 授業の到達目標

- ・東洋史のおおまかな流れを理解する。
- ・各時代・各地域における歴史のありようとその特性を理解する。

3. 成績評価の方法および基準

- ・平常点30%
- ・授業内試験70%(授業中に説明する基本的用語について、穴埋め問題を課す。最終授業で行なう)。

4. 教科書・参考文献

教科書

柿沼陽平 『東洋史概説講義ノート』(2017年) 帝京大学文学部柿沼陽平研究室
※初回授業までに全員買いそろえておくこと。授業で毎回使用する。

【参考書】授業中に適宜指示する。

5. 準備学修の内容

- ・授業で説明した内容の理解に努める。
- ・授業中に紹介した論文・書籍を適宜読む。

6. その他履修上の注意事項

- ・私語厳禁。まじめな学生を歓迎する。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション(本講義の目的と概要)
- 【第2回】 漢帝国の崩壊と『三国志』の世界
- 【第3回】 門閥貴族の台頭
- 【第4回】 五胡十六国から北魏へ——遊牧世界と農耕世界の融合と齟齬——
- 【第5回】 北魏から隋唐へ——怒れる遊牧民の矛先——
- 【第6回】 世界帝国としての唐
- 【第7回】 科挙の確立と唐宋変革論
- 【第8回】 大モンゴルの成立とその世界的余波
- 【第9回】 中国とはなにか——明の悩み——
- 【第10回】 銀と世界史
- 【第11回】 嵌められた清帝国とその後——アヘンがもたらしたもの——
- 【第12回】 大分岐論争のゆくえ
- 【第13回】 現代中国への道
- 【第14回】 総括①
- 【第15回】 総括②